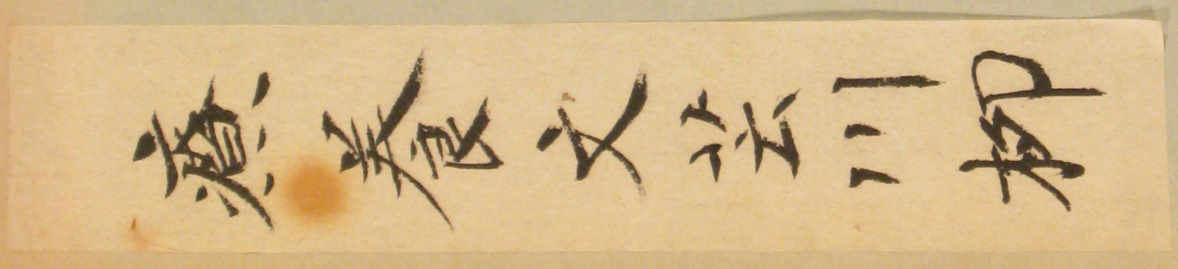
Kodak Gray Scale
C Y M
© Kodak, 2007 TM: Kodak
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

栃木県立図書館

65



inches 1 2 3 4 5 6 7 8
cm 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19
Kodak Color Control Patches
© Kodak, 2007 TM: Kodak
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

栃木県立図書館

前田タカ氏 寄贈

No. 1

春まだ浅し
山野
秋の宿に
(入選)
(岡山県)三次 シジンド
来 詩人

退院(全快)者もマスクをはずして来
(評)いつもと違って、今日はお逸者揃い
マスクをはずしていたが、というだけで
4のことにも、もう(回)を病人としてで

(20×10) 早稲田大学原稿用紙

栃木県立図書館

なく私ってていさつ[illegible]ている[illegible]ということ
によって因みの会性[illegible]性というようなことが、ハッキ
り表作されよう[illegible]ようなものを感じ[illegible]ていると[illegible]いう
のでありまして、[illegible]だん高いにあった人の
心理というだけではなく、ひさなことが、
時と場合ではいかに大きく重視されるかと
いうことをも表わそうとするもので、大へん面白い
と思います。

吉野市石江平山保育園
ツナシテ キコン
筆館 奇骨

栃木県立図書館

No. 3

侍従がこれをさがって
（評）侍従がこのところつづいて姓調と
いうことで、もう、それまで押さえていた
いろ〳〵な想が、一挙にもこ
れは物珍しくなく、人の歌、望みという
ところからも、かも知れません。そのまゝ
持の中に歌をもたげましたというのであり
ます。いかにも明るい句であります。

浦和市本太二の七

武笠明之

栃木県立図書館

病よし」言いなる母の言葉の六八
（評）それまでなんの母さんが、どんな事で
困るをみとっていって呉れたか、それと見て
も、まあ一家揃って病いがよくなってまいると、それが嬉しくなるというのでありまして、「星祭の六
に言葉がつき、困るのためにうそもかまわ
ない、困っているのだからという、相済みませんと、
心の場もあるのだから、よしてくれ
ばよいのにというて居わします、そういう相互

栃木県立図書館

すこの二つの言葉を味わってみましょう。

母のはそれとそれとなく心の中の意味を汲みとってくれるのと思うからです。

静岡県庵原郡　鈴木一枝

七日いしうすしじみはらわたおいしい汁

（評）蜆汁というものは、お汁全体にしみ出た蜆の味、それを賞美するものであって、勿論実際にはらわたがおいしいものであるから、やはり

栃木県立図書館

あれを一つ下さいところに勘ざかあり、
それによってはか蜆汁を食べたという満足
を覚えます。今はそれがなまず、ただ汁を
吸うだけとなった味こそは常
の生活に於ける味のみか、生活のために一
つ欠くことという淋しさか訪れてくる事。
鹿島郡土砂市 政治

担当車掌の皆へ 苔井幸生

(評) 担当車で病気を、帰る途中、御下の皆

栃木県立図書館

に一とこ掬のそしく咲く多見えるところ
があってこのの、右左のくが車をとどめてそ
れを見せてくれる。そういうナースの温い
心つかいに対する感謝の気持は見えます
が、それそうして掬を見ているこの方を
の海、そをこの句から想像する時、何か
見るくの心を注う、一つの画面がそこに思
いうかびます。

栃木県立図書館

（作）

短冊の詩に寄せる詩

有御（うご）仙

○

いつの間にか二人（ふたり）になりました

（評）病んだ女、いろ（な人が集まって来てくれる、病いが長びくにつれ、いつかそういう人の望む通りになって、今はみんなの望む「二人（ふたり）」と二人（ふたり）つまうにになってしまったということのつまり「二人（ふたり）」ということ、いつも抱き合って寝ている姿が見え

栃木県立図書館

て、心打たれるものがあります。しかし
病人のほとんどが、そうした
ものでして、そうした
と一寸場合のおいのおもむきがある。そ
かこの今のオエて、悩ましいを思うと
が秀逸にうたわれたのが多いです。
（トメイ）
高橋邸を末弟通（ハヅ）り北杉生園
（評）沈黙を許されない。しかもうらうらかな
春うらうらそのまま歩いて
見たかろう

春である。その因りのさびしさを思うにつけ、いことだろうなと、もする。（あ）この生を与えたのが私の母七郎右衛門十一ノ三

よそわんでおく盃ごとき母の汁

中おか　正

（評）拙によそってもなおつくる中

栃木県立図書館

でぎっていう。そういう型におけをおし
てそれ。そこにハチ切り用のうめをして
下さることが思われ、母親というものの
存在を、おにしみて覚えるというのであ
ろう。おうちのない、ということ、母言
く、他しいものである。
よう。

兵庫郡姫路市南十二
杉本妙子

(評) 妙子のこの句を押さえた、
妙子のこの苦しいのを包を押さえた、

栃木県立図書館

そのかいつが男根をあつて、痛いの良くなつたり、痛をすることついぬを押さえたくなつて。そのそのを淋しいとするのでそのそのが、痛いのいつまでも困るを訴えるそこ、そこ区、据えるきを治らないというのつてもしよう。重い「癖を持ち」と言ますこか、「持ち」で対向のもの「癖をなつ」としますこ。古かもそのが「癖になつ」ということが癖になつてのかあつてよ。

栃木県立図書館

鳥取砂像港市上道山

中村幸

悲しさだとは知らず
(評)何か夢を見て泣いているらしいので、
揺り起して上げると、泣いていたのには違
いありませんが、実は悲しさのっていう、
新鮮い夢を見てそのこと、即って仮よ
れたというのであります。一ま可笑しな
かあって面白い句であります。
兵庫郡十野市七四番地高等女学校

栃木県立図書館

物と
蛸のぞくみ
（評）蛸と
らであります。
池を、
であります、
その方
しいことが
うこと
ようなもの

栃木県立図書館

No. 15

寺部さん御生前ニハ度々ニハ
津田田辺杜
病気をして布団に寝てもらう
(評) 親切というよりも仕える人
があるべき筈ですが、或る仕える人
にはなることもあります。この句は高浜虚子
人を早く休ませて、そういう思
あらかじめ寝たりをしたというのみ
よしようか、多少会話の感じてい
ないことも(なしようにも思わ)ず。一人に

栃木県立図書館

なつかしい気持、そうしたものが青年
さ。
北海道稚内市仲町通北五
岩下純春
伴そもいと言なよりをさ
(評)思いなを添えて
のあるものは何よりも
ものをだと聞くこと、思うの
の活さか思えて、
だということのであります。

栃木県立図書館

の動きが面白いのが、
手会で声にだして鬼ごっこを遊ぶ」ということ
風に解しているが、書き方のまちがいなどから、
混乱に落ちこんでしまうこと多し。

評高き鬼石多重雄著

山田一枝

花の種呉れし種比べ

（評）花の種を買いに行って、いろいろ話し
ているうち、田舎者だと判って、新しい肉材
のうずまきをつくって、水あるほうの種まで

栃木県立図書館

れるというのであります。同和地域や、そういう親近感、そして、PTAが、その場がさかんになって、ガかには各層に広がることであります。

に、この今のようなおお竹

紙幸子さん卸売市場

手話の通訳を

(3年) チンチンドンドンレ

く、しかも音のみでそのような

栃木県立図書館

No. 19
2

但馬の「雨々々」とつづいてゐます。

都の花弄歌をお心待ちしてゐます。

猫柳老らせてゐ等やがに来る

七沖 稽

栃木県立図書館

栃木県立図書館

栃木県立図書館

栃木県立図書館